

編集後記

一般財団法人台湾協会のご支援のおかげをもちまして、『日本台湾学会報』第25号をお届けすることができました。長年のご支援に対して、心より厚く御礼申し上げます。

巻頭には、2022年度学術大会シンポジウム「日台関係の50年」における基調講演、趣旨説明、政治、経済、社会における3本の報告を掲載することができました。日台関係の節目としての50年をどのようなものとして捉えるのか。「断交」後なのか「友情」継続なのか等、一般的にはいろいろな表現がありましたが、本学会では、国立政治大学名誉教授の林碧炤先生を基調講演にお迎えし、複数の学問的見地から振り返り、これからをどのように考えていくのかについて議論いたしました。極めて示唆に富んだ内容となっております。

論説は2本と、例年より若干少ないと感じるかもしれません。その一方で、研究ノート3本、研究動向1本、書評9本、書評リプライ1本、エッセイ1本と、表紙はずいぶんにぎやかになりました。このうち、研究動向と書評リプライの掲載は、本誌の「2つのはじめて」として新しい展開を導く端緒となるかもしれません。ぜひさまざまな分野の研究動向のご投稿をお待ちしています。また、ここ数号、書評についてかなり幅広い分野を取りあげて参りましたので、それが書評リプライへの投稿へと展開したのかもしれません。

「台湾研究を始めるということ」については、松永正義会員にお願いいたしました。研究とともに動く台湾社会、台湾社会の変化と反応しあう研究について、研究者の活きた時代を感じさせていただきながらとても興味深く拝読いたしました。ありがとうございます。

今号をもちまして現在の編集委員会体制は終了となります。出版までにいろいろなお面倒、ご不便をおかけしたかと思えます。本当に申し訳ありませんでした。これはひとえに委員長の不徳、不手際によるものです。会員の皆様には深くお詫び申し上げます。今後は、新たな編集委員会によって、より充実した学会誌が皆様に届けられることになるかと思えますので、会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、お忙しい中査読を引き受けてくださった学会内外の皆様、ご投稿くださった会員の皆様、文成印刷の皆様にご心より御礼申し上げます。

(編集委員長 松金公正)

日本台湾学会報 第25号 2023年7月31日発行

編集・発行：日本台湾学会『日本台湾学会報』編集委員会
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3-2-2
日本貿易振興機構 アジア経済研究所気付
E-mail：nihontaiwangakkai@gmail.com
ウェブサイト：http://www.jats.gr.jp/